

オーストラリアへき地医療学会（ACRRM）と Rural Generalist Program Japan（RGPJ）との覚書締結について

この度、合同会社ゲネプロ（所在地：千葉県旭市、代表：齋藤学）の提供する『Rural Generalist Program Japan（以下、RGPJ）』（離島・へき地研修プログラム）と、オーストラリアへき地医療学会（Australian College of Rural and Remote Medicine（以下、ACRRM、所在地：オーストラリアクイーンズランド州、President：Dr Sarah Chalmers）との間において、相互協力および協調発展に関するMOU（覚書）を2020年12月17日（木）に締結いたしました。

2020年3月に開かれたACRRM理事会において、2017年から始まったRGPJの取り組みについて発表し、これまでの取り組みが認められるに至りました。この覚書は、双方の関係を明文化し、個人レベルから組織レベルの協力体制へと深化することを正式に表明したものです。今後2つの領域で協力体制を強化してまいります。

1. ACRRMの認定基準を満たすための取り組み

RGPJの研修が、ACRRMの研修プログラム基準を満たし、正式に単位として換算されるような枠組みに発展できるよう、研修プログラムの更なる改善を図ってまいります。

2. プログラム運営の相互連携および協力関係の強化

ACRRMの持つ教育資源や専門的な知見の共有、学術的な研究およびプログラム評価における協力体制の構築、さらに研修生や指導医を含む、両プログラム間における人的交流の促進を強化してまいります。さらには、国際学会において、ACRRMとの共同企画を進めてまいります。

- ・ Acrrm理事会発表の資料は、[こちら](#)からご覧いただけます（英語）
- ・ MOU締結式の様子は、[こちら](#)からご覧いただけます（英語）
- ・ RGPJの研修概要、最新のニュース等は[こちら](#)（日本語）

RGPJ代表 齋藤学よりコメント：

現在の日本において、「へき地医療」の重要性は年々増しつつある一方で、それを担うべき人材を育て上げる教育の仕組みや道筋などについては、残念ながら十分に整備されているとは言えません。

今回のMOU締結を通じ、へき地医療の普及と教育において世界トップレベルの経験とノウハウを持つACRRMとの協力や連携を強化しながら、世界に通用するプログラムとして、そして世界中のへき地に貢献できるプログラムとして『Rural Generalist Program Japan』を構築・発展させていく所存です。

今後とも益々のご支援、ご鞭撻のほど、よろしくごお願い申し上げます。